

令和2年度科学研究費助成事業「新学術領域研究（研究領域提案型）」に係る中間評価結果

領域番号	8005	領域略称名	植物構造オプト
研究領域名	植物の力学的最適化戦略に基づくサステナブル構造システムの基盤創成		
領域代表者名 (所属等)	出村 拓 (奈良先端科学技術大学院大学・先端科学技術研究科・教授)		

(評価結果)

A (研究領域の設定目的に照らして、期待どおりの進展が認められる)

(評価結果の所見)

本研究領域は、植物が多様な環境因子に応答して細胞レベルで構造を力学的に最適化しているという仮説の下、植物の形態形成プロセスを力学的な観点から解明し、それを建築におけるサステナブル構造システムのモデル構築に展開しようとする独創的かつ意欲的な研究を展開している。

植物科学分野では質・量ともに充実した成果が認められる。また、領域代表者のリーダーシップの下、分野間の連携を促進させるための研究集会や勉強会が精力的に実施され、植物科学分野に力学的視点を取り入れられた融合研究が推進されていることも評価に値する。若手育成、国際活動、アウトリーチに関しても、国際的な研究ネットワークを駆使しつつ領域内外の連携が推進されるような工夫が成果を挙げており、また、サイエンスコミュニケーターを配置して一般社会へのアウトリーチ活動も精力的に行っている点も高く評価できる。

一方で、植物科学分野の研究成果を建築学分野へ展開する融合研究については一層の進捗が望まれる。今後は、研究領域として目指すゴールに向けて、植物科学と建築構造学の有機的な連携による建築構造学分野の研究展開に期待したい。